

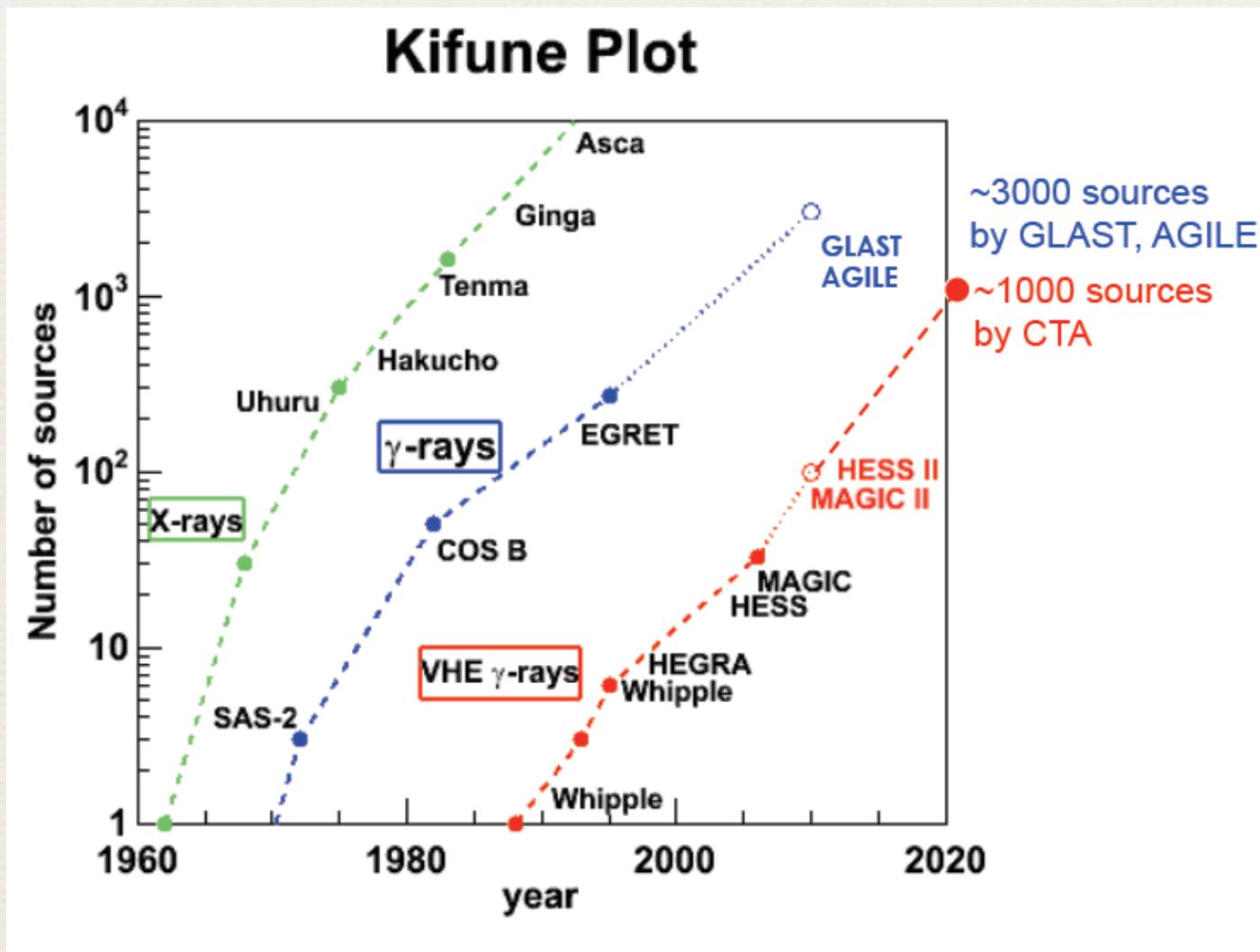
# CTA Japan の活動

戸谷 友則  
(京大・宇宙物理)

研究会「高エネルギー宇宙物理学の将来とCTA」  
東大・宇宙線研究所 平成22年1月9日

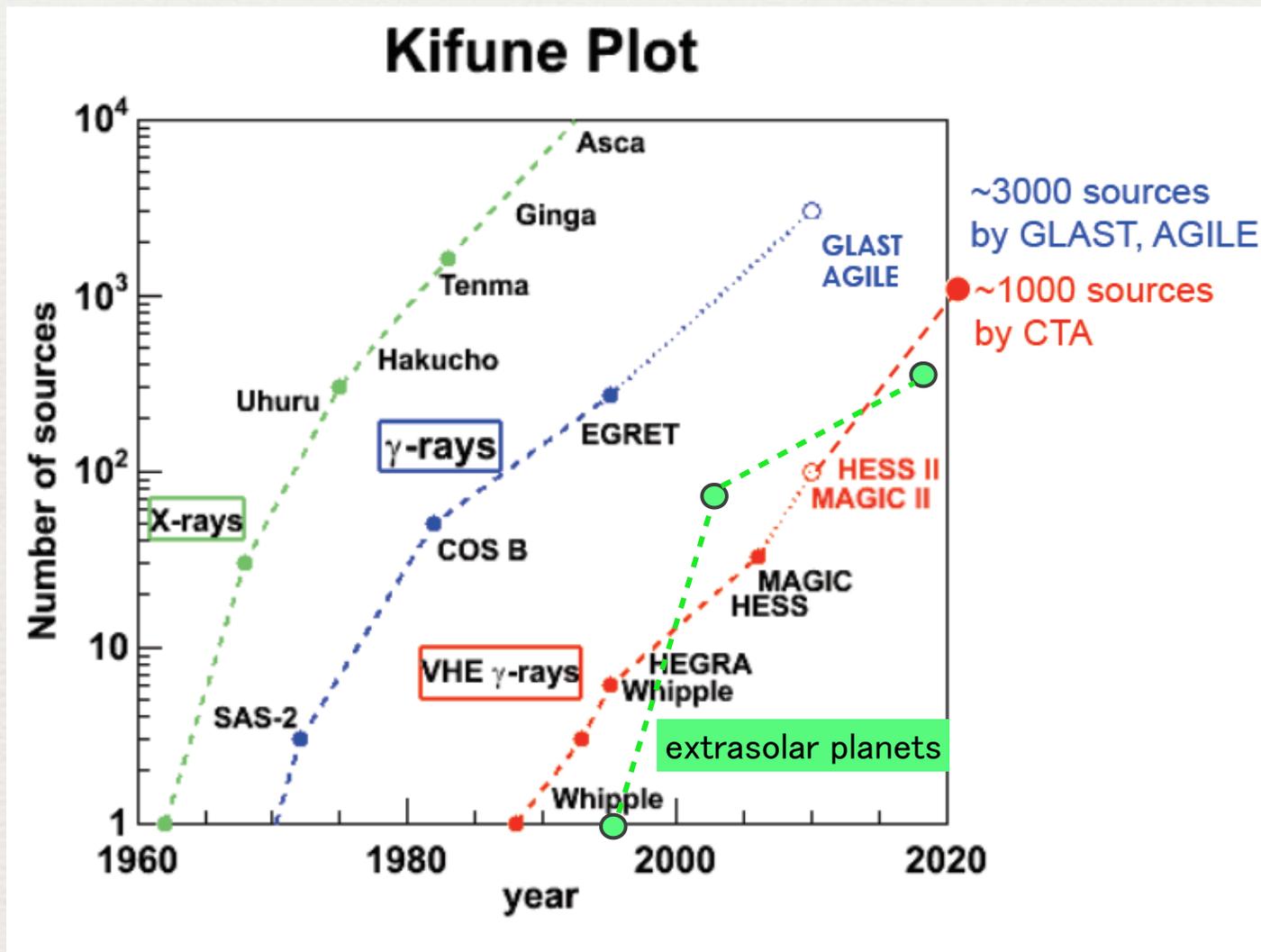
# 高エネルギー宇宙物理の将来と CTA

- ✦ 明確な科学的重要性
- ✦ 天体数が数十から1000へ!
  - ✦ 発見（革命）から、発展の時代へ



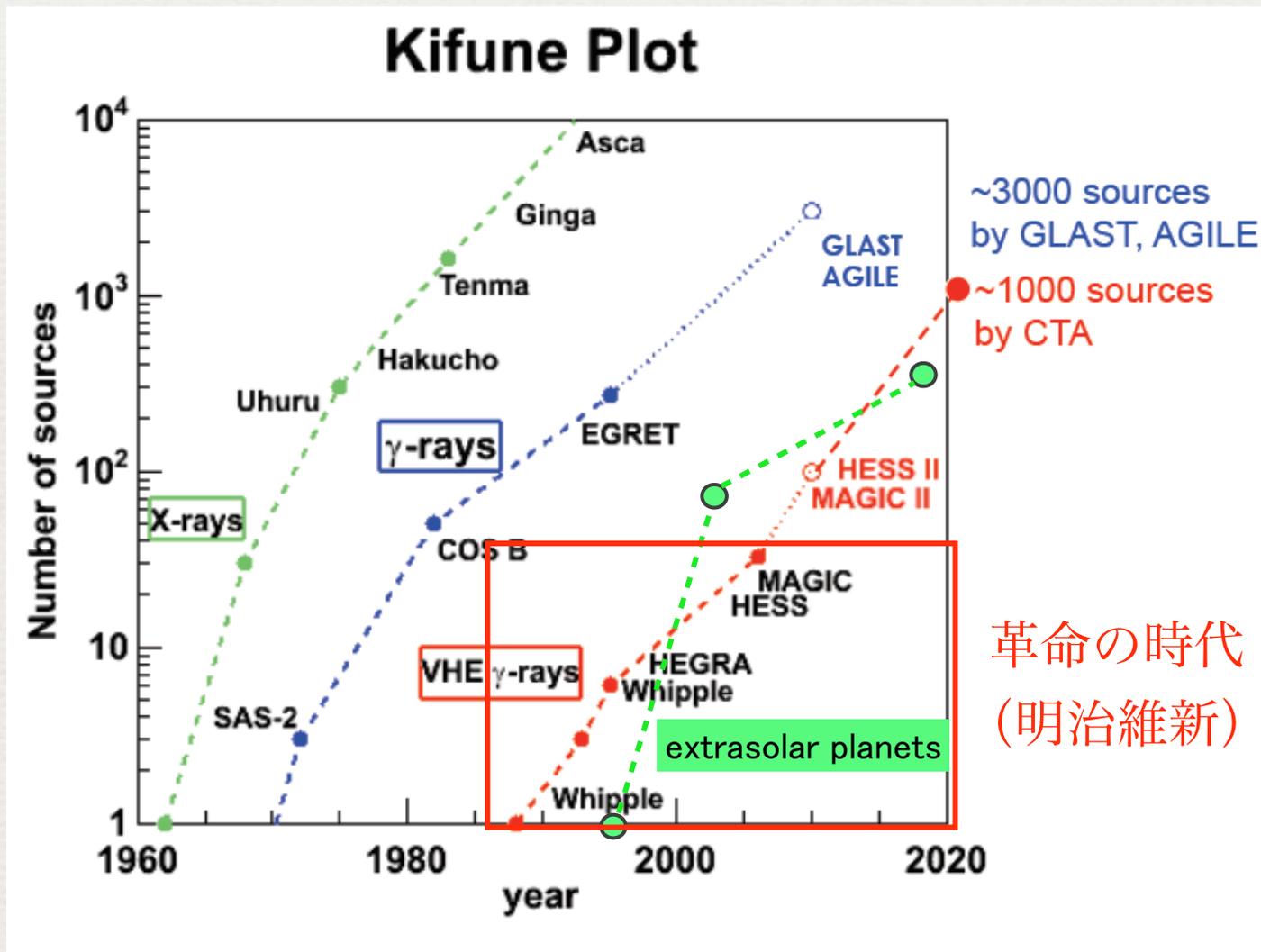
# 高エネルギー宇宙物理の将来と CTA

- ✦ 明確な科学的重要性
- ✦ 天体数が数十から1000へ!
  - ✦ 発見（革命）から、発展の時代へ



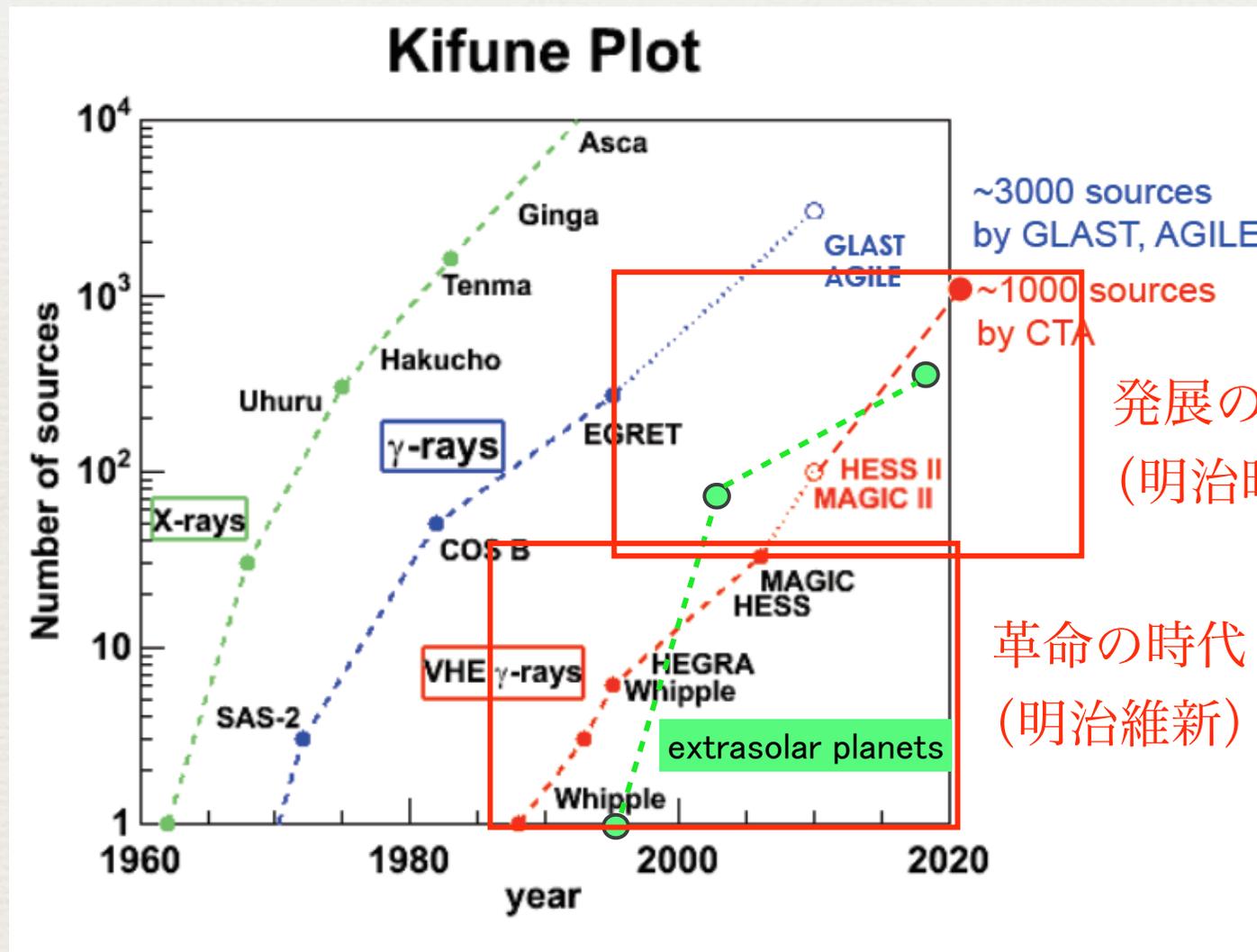
# 高エネルギー宇宙物理の将来と CTA

- ✦ 明確な科学的重要性
- ✦ 天体数が数十から1000へ!
  - ✦ 発見（革命）から、発展の時代へ



# 高エネルギー宇宙物理の将来と CTA

- ◆ 明確な科学的重要性
- ◆ 天体数が数十から1000へ!
  - ◆ 発見（革命）から、発展の時代へ



# 発展の時代へ

のぼってゆく坂の上の青い天に  
もし一朵（いちだ）の白い雲がかがやいていとすれば、  
それのみをみつめて坂をのぼってゆくであろう。

司馬遼太郎 「坂の上の雲」

- ◆ 日本として参加しないと大変
- ◆ 理論を含めた幅広い高エネルギー宇宙物理コミュニティで All Japan の形の参加を！



# CTA Japan 組織体制

- ◆ PI 戸谷 友則 (京都大学)
- ◆ Chair of Institutional Panel 柳田 昭平 (茨城大学)
- ◆ 各 work package coordinators
  - ◆ ELEC (電子回路) 窪 秀利 (京都大学)
  - ◆ FPI (焦点面検出器) 折戸 玲子 (徳島大学)
  - ◆ MC (Monte Carlo) 吉越 貴紀 (ICRR)
  - ◆ PHYS (Physics) 井岡 邦仁 (KEK)
- ◆ アドバイザー
  - ◆ 手嶋 政廣 (Max Planck Institute for Physics)
  - ◆ 田島 宏康 (SLAC→名古屋大学)
- ◆ 総メンバー数 40 名以上
  - ◆ (CTA Japan ホームページをご覧ください <http://cta.scphys.kyoto-u.ac.jp/>)

# これまでの活動

- ✦ PHYS グループを中心に、欧州での CTA ドキュメント作成のサイエンス部分に貢献
- ✦ Design Study に関する覚書 (MoU) 締結に参加 (昨年 1 1 月)
  - ✦ CTA Japan Consortium として正式に参加
- ✦ 組織体制を刷新
- ✦ ホームページ開設
  - ✦ <http://cta.scphys.kyoto-u.ac.jp/>
- ✦ 予算申請
  - ✦ 科研費、宇宙線研共同利用など
  - ✦ デザインスタディのための予算、旅費など

# 今後の活動、方向

- ✦ 東大宇宙線研教授人事（1 / 15 締めきり）
  - ✦ CTA を強力に推進する方を期待
- ✦ 各 work package のコーディネーター中心に、CTA デザインスタディに積極的に貢献
- ✦ 最終的に、数十億規模の予算獲得の上、CTA 本格建設に参加を目指す

# 日本の貢献

- ◆ サイエンス面での貢献
  - ◆ 理論屋がいっぱいいるので心配なし
- ◆ 実験・開発面での貢献
  - ◆ 膨大な数の望遠鏡、検出器が必要
  - ◆ 予算だけでなく、量産装置のquality control, calibrationなどで技術・マンパワーも必要
    - ◆ 欧州だけでは不足、日本の貢献するチャンスあり
    - ◆ 特に浜松があるので PMT
- ◆ 新メンバー随時受付中！（目標50人以上）